

JSA 院生・若手企画 夏の学校 2017 in 東京

-1st Circular-

住民不在の東京都政 —豊洲・オリンピックから地方自治を考える—

豊洲市場完成予想図



東京都中央卸売市場 HP より

日時：2017年9月8日（金）～9月10日（日）

参加費：15,000円程度

主催：日本科学者会議（JSA）「夏の学校」2017 実行委員会

お問い合わせ：jsa.summer.school2017@gmail.com

ホームページ：<http://www.jsa.gr.jp/05event/natu-index.html>

●企画の概要

今年も毎年恒例の「夏の学校」を行います。夏の学校とは、全国の院生・若手研究者を対象に、特定の社会問題に関するフィールドワークや当事者からの聞き取りを行い、様々な専門家との議論を通じて問題を科学的に捉え、科学者の役割を改めて考え直すことを目的とする企画です。JSAの特徴である「学際性」を活かすことによって、研究分野を越えた刺激を受けるとともに、多面的に現在の最新の状況を知ることができる企画であると考えています。

今年度の夏の学校の開催地は東京で、テーマは「住民不在の東京都政—豊洲・オリンピックから地方自治を考える」です。周知のとおり、この間東京都が行ってきた大型開発の矛盾が大きな注目を集めています。かねてより土壌汚染などの懸念がされていた築地市場の豊洲移転問題は、地下空間の発覚、基準値を大幅に上回る汚染物質の検出などで計画の再検討は必至です。また、オリンピック施設に関わる予算も、当初計上されたものから大幅に跳ね上がるなど、そのずさんさが注目されました。

このような大型開発が進められる一方で、都民の生活や福祉、教育などの権利は、ここ15年ほどの間で大幅に削減されてきました。ほんの一例を挙げれば、老人福祉手当の廃止や老人医療費の助成の廃止、小児専門病院の統廃合、オリンピック開発に伴う都営住宅からの立ち退きなどがあげられます。この他にも、様々な「改革」が、住民生活を大きく傷つけています。

今回の夏の学校では、大型開発の問題を一つの「手がかり」に、地方自治の問題について考えていきたいと考えております。都政の問題点が注目されるのに伴って、現在、東京の政治は大きく動いております。今夏の都議選の総括も踏まえつつ、今だからこそ東京から地方自治のあるべき姿について問い直す意味が非常に高まっていると考えています。全国の皆様の参加を心からお待ちしております。

JSA「夏の学校」2017 実行委員会

●スケジュール (仮)

| | 1日目 | 2日目 | 3日目 |
|----|-------|------------------------|-------------------|
| 午前 | 基調講演会 | 築地市場、豊洲、オリンピック開発予定地 FW | 都政・地方自治に関するシンポジウム |
| 午後 | | | |
| 夕方 | | | |
| 夜 | 交流会 | 交流会 | |

※スケジュールはあくまで予定です。詳細は 2nd Circular にてお知らせいたします。

※院生・若手研究者企画となっておりますので、シニアの方の参加は要相談とさせていただきます。詳細は上記メールアドレスまでお問い合わせください。